

修学研修②

～スローガン「共律協援」～の達成を目指して
頑張った修学旅行！

みんなの笑顔が輝いていました！

「筑前町立大刀洗平和記念館」で
平和について学び、感じ、考えました。



スライドでの説明

生しました。そこでは、昭和15年に「大刀洗陸軍飛行学校」が開校され、多くの少年兵たち(みなさんと同年代か少し年齢が上)がパイロットになるための厳しい訓練を受け、戦場に送り出されていきました。第2次世界大戦が激化していく中で、終戦の年の昭和20年(1945年)の3月27日と31日に米軍の大編隊を組んだB29爆撃機により空襲を受け、飛行場はわずか26年でその姿を消しました。その空襲で



真剣に傾聴



平和について考えました

は、基地で働いていた人々や、その地域に住んでいた住民(幼い子供も含む)など多くの命(600~1000人前後)が失われた悲しい歴史があります。また、この飛行場は、若き特攻隊員の出撃を見送る「特攻隊ゆかりの地」でもあります。この地域で起きたことを忘れずに語り継いでいくため、そして、みなさんに戦争のない今の幸せ、平和のありがたさやその大切さを感じてもらいたいと考え、平和記念館を設立されたそうです。

記念館の中には特攻隊で実際に使われた「零戦」や、特攻隊で散っていった若者たちの手紙、当時の写真、遺品などたくさんの展示物がありました。今の平和な日本では考えられない状況を大切に「記録」として残してありました。ウクライナの問題が今ニュースで話題になっているように、「戦争と平和」ということについて、改めて考えさせられました。展示資料室を抜けると、平和への祈りを込めたメッセージを書くためのテーブルが設けられていました。南中の2年生も記念館で感じたことや学んだこと、その思いなどを短冊に込めて、平和への気持ちを新たにしていました。



実際に使われていた戦闘機



博多湾から引き上げられた戦闘機



資料の展示



平和への願いを込めて・・・



「門司港レトロ」での体験と見学！ 「楽しかった！」でもちゃんとわきまえて・・・ テーブルマナー講習



どれも美味しかったコース料理



テーブルマナー講習

「プレミアムホテル門司港」では、フランス料理のフルコースを、テーブルマナー講習を受けながら美味しくいただきました。もうみなさんは、使い方が分かりましたか？将来みなさんは、「ナイフやフォークを使わない？」と思っていませんか？いえいえ、結構使うんですよ。特に、大人になったらみなさんも結婚式の披露宴に友だちを呼んだり、友だちから呼ばれたりすることも多くなると思います。親族の結婚式に呼ばれることもあるでしょう。その時の披露宴ではナイフとフォークを使う機会が多いので、今回学んだことをしっかり生かして正しいテーブルマナーで食事ができるといいですね。たくさんナイフとフォークが並んでいましたが、内側と外側のどちらから順番につかうかわかりましたか？答えは・・・そう、「外側から」が正解です。大きさや形が微妙に違って、それぞれの料理に合った食べやすいものが順番に並んでいましたね。魚と野菜の前菜から始まり、ジャガイモのスープ、白身魚（スズキ）のムニエル、とっても柔らかくて美味しかったフランスパン（オリーブオイルを付けると美味しいことも勉強になりましたね）、ポークステーキ、最後にはプリンの上にアイスクリームがのっているハート型の器に入ったかわいくとても美味しいデザートまで、フルコースを堪能させていただきました。なれない手つきで難しいところもあったようですが、コロナ禍でのマナーも守りながら、静かに落ち着いて、お行儀良く食べることができていました。



マナーを意識して



上手にナイフとフォークを使いながら



もうとまりません・・・

一流ホテルのコース料理を中学生で食べられるなんてうらやましい！と先生たちは思いました。いい思い出になりました。

好き嫌いが多く人が結構いて、気になりました・・・いろんな食材を大切に健康面を考えて残さず食べられる努力もしてくださいね。



みんなとってもおいしかったね！



おいしかったーす！



上品なお味でした。



おいしいと笑顔になります！